

平成30年度 施設分析シート

<b>施設の概要</b>		施設コード	S01-01-01		
施設名	荒川さつき会館				
所在地	荒川八丁目16番13号				
部課名	総務企画部総務企画課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成元年 422,749	国・都	区債	一般財源
	増改築				
	増改築				
併設施設					
竣工年月日	平成元年4月1日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成元年6月1日	職員数	3	0	
構造	RC造	階層	2階		
面積	敷地面積	2,209.16㎡			
	延床面積	1,499.58㎡			
設置目的・経緯	地域住民の相互交流及び自主的活動を促進し、区民生活の向上に寄与するとともに、人権施策の推進を図る				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	東京都同和問題懇談会答申 荒川さつき会館条例				
駐車場の状況	5台	バリアフリー	エレベーター	だれでもトイレ	
駐輪場の状況	19台	対応状況	点字ブロック	スロープ	



<b>管理運営の状況</b>						
管理形態	その他	一部委託(管理業務・清掃業務)		期間	平成元年 から まで	
事業内容	(1) 区民が相互に交流を深め、自主的活動を進めるための場の提供に係る事業 (2) 区民の学習・文化活動及びスポーツの振興等に関する事業 (3) 人権問題に係る啓発に関する事業 (4) その他、区長が必要と認める事業					
対象者	区内在住・在勤・在学の方(団体利用は事前の団体登録が必要)					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	原則として、年末年始(12月29日～翌年1月3日)				
施設基本データ等	年間利用者数(数)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
	年間利用可能日数(日)	23,327	25,003	26,435	27,745	26,394
	年間団体利用件数(件)	352	353	355	355	355
		1,599	1,741	1,731	1,789	1,754
指定管理に係る費用						
備考	29年度は、新規団体の利用や利用団体の規模が大きくなった等で利用者の増加につながったと考えられる。					

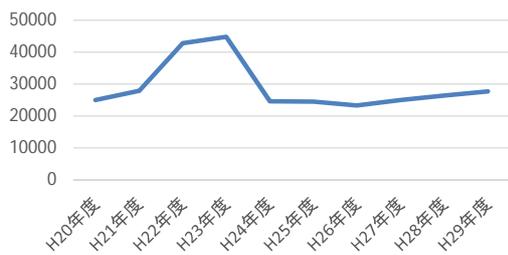
<b>財務諸表</b> (単位:千円)								
行政コスト計算書	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
	給与関係費	12,580	9,551	3,029	地方税等	0	0	0
	物件費	9,959	11,737	1,778	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	1,208	1,724	516	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	402	402	0	使用料及び手数料	1,007	872	135
	減価償却費	11,414	11,414	0	その他	158	169	11
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,165	1,041	124
	賞与・退職給与引当金繰入額	790	1,718	928	行政収支差額(a)-(b)=(c)	35,188	35,505	317
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	36,353	36,546	193	通常収支差額(c)+(d)=(e)	35,188	35,505	317
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	35,188	35,505	317
貸借対照表	勘定科目	H28年度	H29年度	差額	勘定科目	H28年度	H29年度	差額
	流動資産				流動負債	575	467	108
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	575	467	108
	有形固定資産	1,200,449	1,189,034	11,415	その他の流動負債	0	0	0
	土地	1,085,884	1,085,884	0	固定負債	3,726	4,144	418
	建物	422,749	422,749	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	308,184	319,598	11,414	退職給与引当金	3,726	4,144	418
	工作物等	10,233	10,233	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	10,233	10,233	0	負債の部合計	4,301	4,611	310
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	1,196,148	1,184,423	11,725
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	1,196,148	1,184,423	11,725
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	1,200,449	1,189,034	11,415	
資産の部合計	1,200,449	1,189,034	11,415					
備考	行政費用では、給与関係費、物件費、減価償却費が多くかかっている。物件費のうち、大部分を占めているのは委託料であり、内訳としては管理業務委託に3,937,228円、館内清掃委託に2,738,394円がかかっている。また、29年度は自動扉開閉装置機器交換を行い、維持補修費が907,200円となっている。							

指標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)			74	76.2	
有形固定資産減価償却率(80年)(%)			35	35.3	
1㎡当たりコスト(円)			24,104	24,371	
人にかかるコストの割合(%)			36	30.8	
受益者負担比率(%)			3	2.4	
利用者1人当たりコスト(円)			1,367	1,317	
開館1日当たりコスト(円)			101,820	102,946	
備考	前年度と比較して、1㎡当たりコストが267円増加、利用者1人当たりのコストが50円減少、開館1日当たりのコストが1,126円増加している。これは行政費用の増加より利用者数の増加の方が多かったためである。利用団体の規模が大きくなった等で利用者の増加につながったと考えられる。				

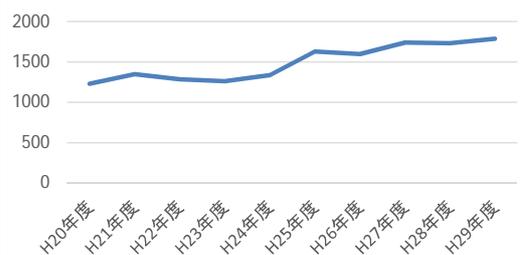
施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	無	有(計画名: )	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
目標指標	指標名・単位	目標値					26
	団体利用回転率	実績値	23	25	25	26	
施設運営の方向性	転用・多目的化 現状維持	民営化 その他( )	他施設との統合		廃止		
管理形態の変更の推移	有(変更内容: ) 無						
利用者・地域のニーズ	地域住民の相互交流の拠点として、人権啓発を推進していくために必要性は高い。						
現状・課題	<p>施設の老朽化 開館から長期間経過し、施設の老朽化とともに、施設内の設備や備品も劣化してきており、改修や修繕等、買替え等を計画的に行っていく必要がある。</p> <p>地域住民の相互交流および人権施策推進の拠点としての会館づくり 地域住民の相互交流を促すとともに、人権問題に対する垣根を取り払えるような会館づくりを行う必要がある。また、さらなる人権啓発を推進していくためには、新規利用者の拡大に向けた施策が必要である。既存事業の見直しや新規事業の企画などを検討していく必要がある。</p>						
課題に対する現時点での考え	施設の老朽化および、施設内の設備や備品の劣化については、改修や修繕、買い替え等を計画的に行っていく。 新規利用者拡大のため、既存事業の見直しおよび新規事業の企画を進めていく。						
議会、利用者等からの意見	平成22年1定 さつき会館のふれあい館化について						

>>施設分析シート・現年作業用||-1|



>>施設分析シート・現年作業用||-1|



平成30年度 施設分析シート

<b>施設の概要</b>		施設コード	S01-01-02	
施設名	男女平等推進センター（アクト21）			
所在地	東尾久五丁目9番3号			
部課名	総務企画部総務企画課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)	
			国・都	区債
	建築	平成8年		一般財源
	増改築			
併設施設	熊野前ひろば館			
竣工年月日	平成8年3月		常勤・非常勤	その他
供用開始年月日	平成8年7月	職員数	3	0
構造	鉄筋コンクリート造	階層	地上3階・地下2階	
面積	敷地面積	1031.56㎡		
	延床面積	1468.65㎡		
設置目的・経緯	女性の社会的地位の向上及び社会参画を促進し、男女共同参画社会の実現をめざすための拠点とする。			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	荒川区立男女平等推進センター条例、同施行規則			
駐車場の状況	無	エレベーター	だれでもトイレ	
駐輪場の状況	50台	対応状況	点字ブロック	スロープ



管理運営の状況

管理形態	直営	期間	から	まで		
事業内容	(1)男女平等の推進に係る講演会及び講習会の実施に関する事業 (2)男女平等の推進に係る図書及び資料の収集並びに利用に関する事業 (3)男女平等の推進に係る相談に関する事業 (4)男女平等の推進に係る団体及び個人の相互交流に関する事業 (5)地域住民が相互に交流を深め、自主的な活動を進めるための場の提供に関する事業 (6)前各号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事業					
対象者	男女平等推進団体、一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時				
	休日	年末年始、定期清掃日(年4回)				
施設基本データ等	施設利用者数(人)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(見込み)
	利用可能日数(日)	49,049	54,507	51,684	39,361	41,985
	相談件数(件)	355	356	355	354	355
	貸出施設利用件数(件)	279	303	292	335	330
		1,714	1,755	1,651	1,705	1,760
指定管理に係る費用						
備考	29年度は1月にホールの貸出しを休止して地下2階カーペット張替工事を実施したため、施設利用者数が減少したものの、全体の貸出施設利用件数は増加した。					

財務諸表

(単位:千円)

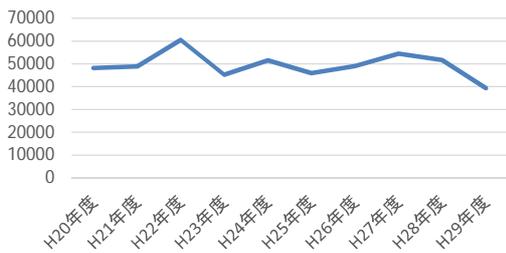
	勘定科目			H28年度	H29年度	差額	勘定科目			H28年度	H29年度	差額			
	H28年度	H29年度	差額				H28年度	H29年度	差額						
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	22,022	21,527	495	行政収入	地方税等	0	0	0					
		物件費	18,665	19,407	742		国庫支出金	0	0	0					
		維持補修費	2,130	4,934	2,804		都支出金	0	0	0					
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0					
		補助費等	3,295	3,165	130		使用料及び手数料	3,637	3,568	69					
		減価償却費	26,271	26,271	0		その他	85	87	2					
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	3,722	3,655	67					
		賞与・退職給与引当金繰入額	1,383	3,871	2,488		行政収支差額(a)-(b)=(c)	70,044	75,520	5,476					
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0					
		行政費用合計(b)	73,766	79,175	5,409		通常収支差額(c)+(d)=(e)	70,044	75,520	5,476					
		特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0	0					
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	70,044	75,520	5,476					
貸借対照表	固定資産	勘定科目			H28年度	H29年度	差額	勘定科目			H28年度	H29年度	差額		
		収入未済	0	0				0	流動負債	1,007				1,053	46
		不納欠損引当金	0	0				0	還付未済金	0				0	0
		その他の流動資産	0	0				0	特別区債	0				0	0
		有形固定資産	1,052,309	1,026,356				25,953	賞与引当金	1,007				1,053	46
		土地	636,112	636,112				0	その他の流動負債	0				0	0
		建物	961,193	961,193				0	固定負債	6,523				9,341	2,818
		建物減価償却累計額	544,997	570,949				25,952	特別区債	0				0	0
		工作物等	7,279	7,279				0	退職給与引当金	6,523				9,341	2,818
		工作物等減価償却累計額	7,279	7,279				0	その他の固定負債	0				0	0
		無形固定資産	0	0				0	負債の部合計	7,530				10,394	2,864
		建設仮勘定	0	0				0	正味財産	1,045,735				1,016,599	29,136
その他の固定資産	956	637	319	正味財産の部合計	1,045,735	1,016,599	29,136								
資産の部合計	1,053,265	1,026,993	26,272	負債及び正味財産の部合計	1,053,265	1,026,993	26,272								
備考	行政費用では、給与関係費や減価償却費に次いで物件費や維持補修費が多くなっている。内訳として、光熱水費に3,608,477円、委託料に14,342,978円、家屋等修繕費に1,370,284円、工事請負費に3,564,000円かかっている。														

指標	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)			57.0	59.7	
有形固定資産減価償却率(80年)(%)			27	26.8	
1㎡当たりコスト(円)			52,008	53,910	
人にかかるコストの割合(%)			34	32.1	
受益者負担比率(%)			5	4.5	
利用者1人当たりコスト(円)			1,478	2,012	
開館1日当たりコスト(円)			215,158	223,658	
財務指標・評価指標等					
備考	利用者1人当たりコストが前年度比534円増、開館1日当たりコストが前年度比8,500円増となっているが、これは29年度に地下2階エレベーターホールのカーペット張替修繕を行ったためである。				

施設運営の方向性(所管の考え方)

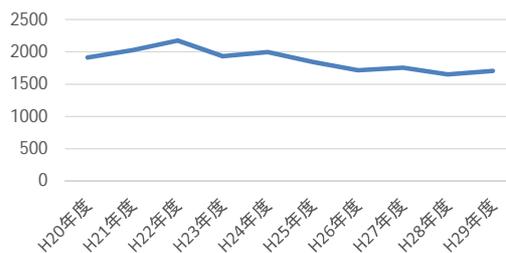
計画の有無	無	有(計画名: )	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(見込み)
目標指標	指標名・単位	目標値					
	講演会・講座等の参加者数(人)	実績値	1,400	1,500	1,800	1,800	1,650
			1,424	1,643	1,759	1,559	1,650
施設運営の方向性	転用・多目的化 現状維持	民営化 その他( )	他施設との統合		廃止		
管理形態の変更の推移	有(変更内容: ) 無						
利用者・地域のニーズ	男女共同参画に関する啓発、男女共同参画の拠点として区民相互の交流を推進するコミュニティ施設を確保する必要性は高い。						
現状・課題	男女共同参画の拠点として、講座や講演会等の啓発事業のほか、区民相互の交流を推進するコミュニティ施設の役割を担っている。 平成8年の開設から22年が経過し、経年劣化による修繕の必要箇所が増えてきている。 より広く区民に区の取組や施設をPRしていく必要がある。						
課題に対する現時点での考え	利用者の安全性や利便性を確保しながら、計画的に改修及び修繕に取り組んでいく。 区の広報媒体を活用し、事業や施設の情報等を積極的に発信していく。 実施時間帯等、区民がイベントに参加しやすい工夫をする。						
議会、利用者等からの意見	(平成28年アクト21区民アドバイザー会議)継続的な活動のための支援、事業への参加しやすさへの配慮						

>>施設分析シート・現年作業用||-1|



29年度は1月にホールの貸出を休止して地下2階カーペット張替工事を実施したため、施設利用者数が減少した。

>>施設分析シート・現年作業用||-1|



平成22年度をピークに貸出施設利用件数は減少傾向にある。